



さくらぐみだより



令和5年9月 家久保育園

日中はまだまだ暑い日が続きますが、朝夕の心地よい風に少しずつ秋の気配を感じられるようになってきました。さくら組での生活も早半年がたち、子ども達もさくら組での生活にすっかり慣れた様子です。着脱や排泄、食事、身の回りの始末など、自分でできることも増え、いろいろなことを自分でやってみようという姿が見られるようになってきました。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期ですが、一人一人の体調に留意しながら、散歩に出かけたり、戸外で遊び、秋の自然を感じたり、体を思いきり動かして遊んだりしていきたいと思います。



おばけにへーんしん!

きく組(5歳児)さんのつくったおばけ屋敷で遊ばせてもらったり、おばけの絵本を見たり、歌を歌ったりしたことから、自分達も“おばけ”に変身して遊ぶことを喜んだ子ども達。『おばけがぞろぞろ』に登場するおばけの中から、自分で好きなものを選び、お面に色を塗ったり、保育者と一緒に衣装をつくったりしました。完成したお面や衣装を身に着けると、「おばけだぞ〜」「つかまえた!」と、驚かすような声を出したり、表情をしたりしながら、おばけになりきって楽しむ姿が見られました。保育者や年上の友達が、怖がる素振りを見せると、とっても嬉しそうで、得意気な表情を見せてくれました。



☆からだを動かすのだ〜いすき☆

暑い夏の間、戸外に出て遊ぶことはできませんでしたが、保育室や遊戯室では、体を動かす遊びを楽しんできました。跳んだり、走ったり、一本橋の上を歩いたり、体を上手に使えるようになってきました。ゲームボックスからのジャンプでは、絵本に登場する空を飛ぶおばけを真似して「えいっ!」と掛け声を掛けながらポーズをとる姿も見られます。また、運動会で年上の友達がしていた、旗やポンポンの踊り、体操などを真似して遊ぶことを喜んでいきます。遊びの中で友達の姿にも刺激を受けながらいろいろなことに挑戦している子ども達です。



＝ 運動会ごっこ ＝

先日、園内にて“運動会ごっこ”を楽しみました。子ども達が大好きな“おばけ”に変身して、トンネルくぐりやジャンプ、的あてなど、普段喜んでいる遊びを競技として楽しみました。大きいクラスの友達に応援してもらいながら「がんばるぞー」と張り切っていた子ども達。「よーいどん!」の合図が待ちきれなくて、走りだしそうになるほどでした。また、小さいクラスの友達が競技をしている時には、保育者と一緒に「がんばれー!」と応援したり、拍手をしたりする姿も見られました。最後にメダルを首にかけてもらうと、目をキラキラと輝かせながらメダルをじっと見たり、保育者に見せたりしてとっても喜んでいましたよ。



～ おねがい ～

- ☆天気の良い日には、散歩に出かけたいと思います。スニーカーのように歩いたり、動いたりしやすい靴を履いてきてください。
- ☆登園したら、子ども達が自分で荷物の始末をします。手紙の返事や集金等は必ず玄関の職員に手渡すようにしてください。